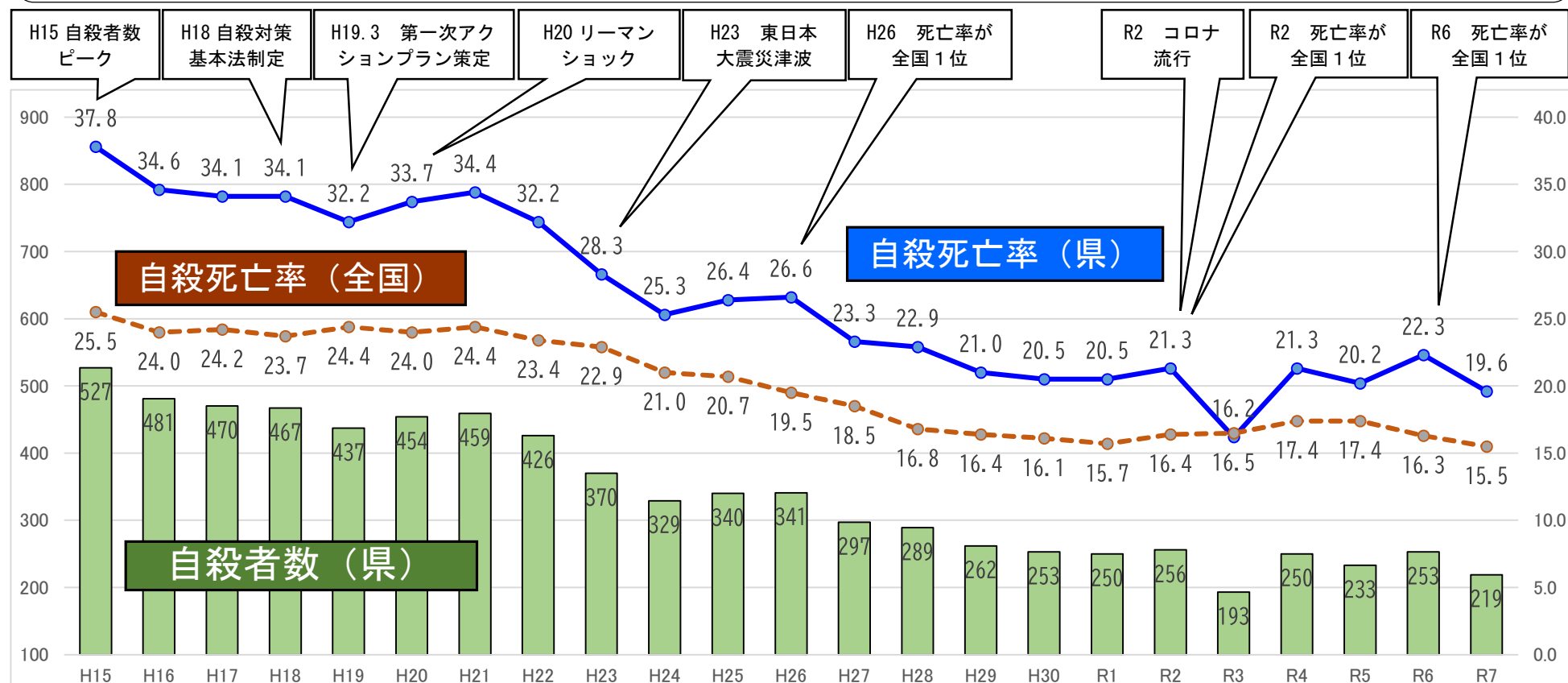


岩手県の自殺の状況について

1 自殺者数・自殺死亡率の推移（厚生労働省人口動態統計）

- ・ 本県の自殺者数は、平成 15 年の 527 人をピークに長期的に減少傾向にある。
- ・ 令和 7 年の自殺者数は、前年比 34 人減（▲13.4%）の 219 人。
- ・ 平成 15 年の自殺死亡率の全国との差 12.3 ポイントで、令和 7 年は 4.1 ポイントに縮小。



		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
自殺死亡率 (人口10万対)	全国	25.5	24.0	24.2	23.7	24.4	24.0	24.4	23.4	22.9	21.0	20.7	19.5	18.5	16.8	16.4	16.1	15.7	16.4	16.5	17.4	17.4	16.3	15.5
	岩手県	37.8	34.6	34.1	34.1	32.2	33.7	34.4	32.2	28.3	25.3	26.4	26.6	23.3	22.9	21.0	20.5	20.5	21.3	16.2	21.3	20.2	22.3	19.6
	順位	③	③	③	②	④	③	③	②	②	④	②	①	②	②	②	③	②	①	②⑥	②	④	①	④
自殺者数	全国	32,109	30,247	30,553	29,921	30,827	30,229	30,707	29,554	28,896	26,433	26,063	24,417	23,152	21,017	20,468	20,031	19,425	20,243	20,291	21,252	21,037	19,608	18,518
	岩手県	527	481	470	467	437	454	459	426	370	329	340	341	297	289	262	253	250	256	193	250	233	253	219

2 自殺死亡率の高い全国上位5県（厚生労働省人口動態統計）

- ・ 本県の自殺死亡率は、全国的に高位にある。
- ・ 令和7年の人口10万人あたりの自殺死亡率は19.6で、全国順位では、高い方から4位となっている。

年	全国	1	自殺者数	死亡率	2	自殺者数	死亡率	3	自殺者数	死亡率	4	自殺者数	死亡率	5	自殺者数	死亡率
H15	25.5	秋田県	519	44.6	青森県	576	39.5	岩手県	527	37.8	新潟県	833	34.0	富山県	356	32.1
H16	24.0	秋田県	452	39.1	青森県	554	38.3	岩手県	481	34.6	高知県	256	32.0	島根県	238	32.0
H17	24.2	秋田県	447	39.1	青森県	527	36.8	岩手県	470	34.1	山形県	376	31.1	富山県	338	30.7
H18	23.7	秋田県	482	42.7	岩手県	467	34.1	山形県	381	31.7	島根県	232	31.7	宮崎県	362	31.6
H19	24.4	秋田県	420	37.6	宮崎県	394	34.6	青森県	469	33.4	岩手県	437	32.2	島根県	233	32.1
H20	24.0	秋田県	410	37.1	青森県	473	34.1	岩手県	454	33.7	宮崎県	364	32.1	鳥取県	183	31.0
H21	24.4	秋田県	416	38.1	青森県	476	34.6	岩手県	459	34.4	島根県	221	30.9	高知県	233	30.5
H22	23.4	秋田県	358	33.1	岩手県	426	32.2	青森県	403	29.4	新潟県	675	28.6	山梨県	233	27.4
H23	22.9	秋田県	346	32.3	岩手県	370	28.3	新潟県	651	27.7	宮崎県	312	27.7	沖縄県	379	27.2
H24	21.0	秋田県	293	27.6	新潟県	617	26.4	高知県	194	25.9	岩手県	329	25.3	山形県	290	25.3
H25	20.7	秋田県	277	26.5	岩手県	340	26.4	新潟県	605	26.1	島根県	177	25.4	群馬県	492	25.2
H26	19.5	岩手県	341	26.6	秋田県	269	26.0	宮崎県	265	23.9	新潟県	542	23.5	富山県	241	22.8
H27	18.5	秋田県	262	25.7	岩手県	297	23.3	宮崎県	255	23.2	島根県	158	22.9	新潟県	504	22.0
H28	16.8	秋田県	240	23.8	岩手県	289	22.9	新潟県	496	21.8	和歌山県	206	21.7	青森県	271	21.0
H29	16.4	秋田県	242	24.4	岩手県	262	21.0	青森県	265	20.8	愛媛県	275	20.3	福島県	378	20.2
H30	16.1	和歌山県	197	21.2	青森県	259	20.6	岩手県	253	20.5	秋田県	199	20.3	福島県	364	19.7
R1	15.7	秋田県	200	20.8	岩手県	250	20.5	群馬県	357	18.9	新潟県	408	18.5	山形県	195	18.2
R2	16.4	岩手県	256	21.3	宮崎県	217	20.5	福島県	355	19.6	青森県	238	19.4	群馬県	362	19.3
R3	16.5	青森県	284	23.4	和歌山県	186	20.5	山形県	211	20.1	新潟県	428	19.8	宮崎県	207	19.6
R4	17.4	秋田県	209	22.6	岩手県	250	21.3	宮崎県	213	20.4	鹿児島県	315	20.3	青森県	242	20.2
R5	17.4	和歌山県	193	21.8	宮崎県	222	21.5	福島県	354	20.2	岩手県	233	20.2	秋田県	176	19.4
R6	16.3	岩手県	253	22.3	新潟県	426	20.5	秋田県	178	20.0	福島県	337	19.5	高知県	126	19.4
R7	15.5	青森県	227	20.0	群馬県	355	19.8	福島県	335	19.7	岩手県	219	19.6	新潟県	393	19.2

令和3年の岩手県は26位、自殺者数193人、自殺死亡率16.2

3 男女別・年齢別自殺者数（警察庁統計）

※人口動態統計（住所地ベース）では、令和7年の男女別・年齢別データが現地点では未公表であること。

- ・警察庁統計（発見地ベース）では、令和7年の本県の自殺者は204人となっている。
- ・男女別では、男性が161人（78.9%）、女性が43人（21.1%）となっており、男性は40歳代及び60歳代、女性は80歳以上の自殺者が最も多い。
- ・令和6年と比較すると、80歳以上を除く全ての年齢階級で自殺者数が減少している。
- ・全国では男性・女性ともに50歳代の自殺者が最も多く、令和6年と比較すると、20歳未満、不詳を除く年齢階級で自殺者が減少している。

【岩手県（10歳区分）】

単位：人

		20歳未満	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳以上	不詳	計	
R 7	男	5	16	19	26	23	26	24	22	0	161	
	女	2	5	3	4	7	2	7	13	0	43	
	合計	7	21	22	30	30	28	31	35	0	204	
R 6	男	4	21	20	47	35	30	27	22	0	206	
	女	4	6	5	6	14	8	5	12	0	60	
	合計	8	27	25	53	49	38	32	34	0	266	
R 5	男	8	15	14	32	46	35	26	19	0	195	
	女	4	9	4	5	12	16	8	12	0	70	
	合計	12	24	18	37	58	51	34	31	0	265	
増減 R7-R6	男	1	△ 5	△ 1	△ 21	△ 12	△ 4	△ 3	0	0	△ 45	-21.8%
	女	△ 2	△ 1	△ 2	△ 2	△ 7	△ 6	2	1	0	△ 17	-28.3%
	合計	△ 1	△ 6	△ 3	△ 23	△ 19	△ 10	△ 1	1	0	△ 62	-23.3%

【全国（10歳区分）】

単位：人

		20歳未満	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳以上	不詳	計	
R 7	男	401	1,566	1,618	2,193	2,702	1,703	1,573	1,386	34	13,176	
	女	429	846	675	775	1,041	703	764	774	5	6,012	
	合計	830	2,412	2,293	2,968	3,743	2,406	2,337	2,160	39	19,188	
R 6	男	370	1,546	1,717	2,366	2,684	1,812	1,799	1,483	24	13,801	
	女	430	919	682	848	1,115	772	886	863	4	6,519	
	合計	800	2,465	2,399	3,214	3,799	2,584	2,685	2,346	28	20,320	
R 5	男	431	1,599	1,883	2,665	2,939	1,931	1,910	1,479	25	14,862	
	女	379	922	704	960	1,255	867	991	891	6	6,975	
	合計	810	2,521	2,587	3,625	4,194	2,798	2,901	2,370	31	21,837	
増減 R7-R6	男	31	20	△ 99	△ 173	18	△ 109	△ 226	△ 97	10	△ 625	-4.5%
	女	△ 1	△ 73	△ 7	△ 73	△ 74	△ 69	△ 122	△ 89	1	△ 507	-7.8%
	合計	30	△ 53	△ 106	△ 246	△ 56	△ 178	△ 348	△ 186	11	△ 1,132	-5.6%

男女別・原因動機別（警察庁統計）

- ・ 原因・動機別では、「健康問題」が最も多い。
- ・ 男性では、「健康問題」76件、次いで「経済・生活問題」60件、「不詳」29件となっており、女性では、「健康問題」29件、次いで「家庭問題」12件、「不詳」7件となっている。
- ・ 「健康問題」、「経済・生活問題」などにおいて、全体に占める割合が増加傾向にある。

単位：件、%

		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳	計
R 7	男	20	① 76	② 60	19	6	3	9	③ 29	222
	女	② 12	① 29	1	4	1	1	5	③ 7	60
	合計	③ 32	① 105	② 61	23	7	4	14	36	282
	割合	11.3	37.2	21.6	8.2	2.5	1.4	5	12.8	100
R 6	男	44	① 97	② 66	29	8	4	16	35	299
	女	8	① 38	4	7	1	4	③ 8	② 11	81
	合計	52	① 135	② 70	36	9	8	24	46	380
	割合	13.7	35.5	18.4	9.5	2.4	2.1	6.3	12.1	100
R 5	男	41	74	53	24	7	5	23	33	260
	女	12	44	5	5	3	1	11	13	94
	合計	53	118	58	29	10	6	34	46	354
	割合	15.0	33.3	16.4	8.2	2.8	1.7	9.6	13.0	100

※1 ○数字は順位を表す

※2 遺書等により推定できる原因・動機を、自殺者1人につき4つまで計上したものであり、自殺者数とは一致しないこと。

【参考１】地域の主な自殺者の特徴及び推奨重点パッケージ

出典：一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター「地域自殺実態プロファイル（2025 年更新版）」

直近 5 年（2020 年～2024 年）合計の自殺者数、自殺死亡率を示していること

	1 位			2 位			3 位			推奨される重点パッケージ			
全県	男性, 60歳以上, 無職, 同居			男性, 40～59歳, 有職, 同居			女性, 60歳以上, 無職, 同居			高齢者	生活困窮者	勤務・経営	
	181	14.9%	38.6	154	12.7%	25.1	123	10.1%	14.5				
盛岡医療圏	男性, 40～59歳, 有職, 同居			男性, 60歳以上, 無職, 同居			女性, 60歳以上, 無職, 同居			勤務・経営	高齢者	生活困窮者	
	61	15.2%	26.0	46	11.5%	29.1	30	7.5%	10.7				
岩手中部医療圏	男性, 60歳以上, 無職, 同居			女性, 60歳以上, 無職, 同居			男性, 40～59歳, 有職, 同居			高齢者	生活困窮者	勤務・経営	
	49	18.2%	61.0	35	13.0%	22.9	31	11.5%	27.3				
胆江医療圏	男性, 60歳以上, 無職, 同居			男性, 60歳以上, 有職, 同居			女性, 60歳以上, 無職, 同居			高齢者	生活困窮者	勤務・経営	
	20	16.5%	40.3	13	10.7%	19.5	13	10.7%	13.6				
両磐医療圏	男性, 40～59歳, 有職, 同居			女性, 60歳以上, 無職, 同居			男性, 20～39歳, 有職, 同居			勤務・経営	高齢者	生活困窮者	子ども・若者
	16	13.9%	26.6	16	13.9%	16.7	12	10.4%	33.6				
気仙医療圏	男性, 60歳以上, 無職, 独居			男性, 40～59歳, 無職, 同居			男性, 60歳以上, 無職, 同居			高齢者	生活困窮者	無職者・失業者	
	9	15.8%	176	7	12.3%	233.3	7	12.3%	25.3				
釜石医療圏	男性, 60歳以上, 無職, 独居			男性, 60歳以上, 無職, 同居			女性, 40～59歳, 無職, 同居			高齢者	生活困窮者	無職者・失業者	
	6	16.7%	116.6	5	13.9%	24.6	4	11.1%	50.5				
宮古医療圏	男性, 60歳以上, 無職, 同居			男性, 60歳以上, 無職, 独居			男性, 40～59歳, 有職, 同居			高齢者	生活困窮者	勤務・経営	
	11	15.3%	31.1	8	11.1%	99	7	9.7%	19.4				
久慈医療圏	男性, 60歳以上, 無職, 同居			男性, 40～59歳, 有職, 同居			男性, 60歳以上, 無職, 独居			高齢者	生活困窮者	勤務・経営	
	19	26.8%	80.2	7	9.9%	26.5	5	7.0%	109.0				
二戸医療圏	男性, 60歳以上, 無職, 同居			女性, 60歳以上, 無職, 同居			男性, 40～59歳, 有職, 同居			高齢者	生活困窮者	勤務・経営	
	12	17.4%	55.6	11	15.9%	28.3	8	11.6%	31.8				

注)表の見方

区分 (※性別、年齢階級、職業の有無、同居人の有無)		
自殺者数 R2～R6計	割合	自殺率 (10万対)

年齢階級は、成人3区分(20～39歳、40～59歳、60歳以上)

【参考2】 生活状況別にみた、背景にある主な自殺の危機経路（例）

出典：一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター「地域自殺実態プロファイル（2025年更新版）」

【男性】

生活状況			背景にある主な自殺の危機経路（例）
20～39歳	有職	同居	職場の人間関係／仕事の悩み（ブラック企業）→パワハラ＋過労→うつ状態→自殺
		独居	①【正規雇用】配置転換→過労→職場の人間関係の悩み＋仕事の失敗→うつ状態→自殺 ②【非正規雇用】（被虐待・高校中退）非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺
	無職	同居	①【30代その他無職】ひきこもり＋家族間の不和→孤立→自殺 ②【20代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺
		独居	①【30代その他無職】失業→生活苦→多重債務→うつ状態→自殺 ②【20代学生】学内の人間関係→休学→うつ状態→自殺
40～59歳	有職	同居	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み＋仕事の失敗→うつ状態→自殺
		独居	配置転換（昇進／降格含む）→過労＋仕事の失敗→うつ状態＋アルコール依存→自殺
	無職	同居	失業→生活苦→借金＋家族間の不和→うつ状態→自殺
		独居	失業→生活苦→借金→うつ状態→自殺
60歳以上	有職	同居	①【労働者】身体疾患＋介護疲れ→アルコール依存→うつ状態→自殺 ②【自営業者】事業不振→借金＋介護疲れ→うつ状態→自殺
		独居	配置転換／転職＋死別・離別→身体疾患→うつ状態→自殺
	無職	同居	失業（退職）→生活苦＋介護の悩み（疲れ）＋身体疾患→自殺
		独居	失業（退職）＋死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺

【女性】

生活状況			背景にある主な自殺の危機経路（例）
20～39歳	有職	同居	離婚の悩み→非正規雇用→生活苦＋子育ての悩み→うつ状態→自殺
		独居	①非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺 ②仕事の悩み→うつ状態→休職／復職の悩み→自殺
	無職	同居	DV等→離婚→生活苦＋子育ての悩み→うつ状態→自殺
		独居	①【30代その他無職】失業→生活苦＋うつ状態→孤立→自殺 ②【20代学生】学内の人間関係→休学→就職失敗＋うつ状態→自殺
40～59歳	有職	同居	職場の人間関係＋家族間の不和→うつ状態→自殺
		独居	職場の人間関係＋身体疾患→うつ状態→自殺
	無職	同居	近隣関係の悩み＋家族間の不和→うつ病→自殺
		独居	夫婦間の不和→離婚→生活苦→うつ状態→自殺
60歳以上	有職	同居	介護疲れ＋家族間の不和→身体疾患＋うつ状態→自殺
		独居	死別・離別＋身体疾患→うつ状態→自殺
	無職	同居	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
		独居	死別・離別＋身体疾患→病苦→うつ状態→自殺

5 地域別の自殺の状況（厚生労働省人口動態統計）

- ・ 保健所単位でみた令和6年の自殺死亡率は、高い順に、二戸保健所管内、久慈保健所管内、県央保健所管内となっている。
- ・ 二戸保健所管内は、平成22年から令和6年まで、自殺死亡率が県平均を上回っている。
- ・ 5か年平均の推移をみると、県央保健所及び一関保健所、釜石保健所、二戸保健所の地域は減少傾向にある。

保健所/年	H22	H23	H24	H25	H26	H22-H26 平均	H27	H28	H29	H30	R1	H27-R1 平均	R2	R3	R4	R5	R6	R2-R6 平均
盛岡市	22.8	19.7	23.0	20.0	24.7	22.1	16.5	19.9	13.2	18.7	16.1	16.8	17.6	12.8	14.7	16.6	13.2	15.0
県央	<u>40.4</u>	<u>34.5</u>	<u>33.6</u>	<u>34.3</u>	26.2	<u>33.9</u>	<u>27.9</u>	<u>34.9</u>	<u>27.7</u>	16.5	<u>20.6</u>	<u>25.6</u>	<u>27.7</u>	12.8	18.8	18.4	<u>28.3</u>	<u>21.2</u>
中部	<u>37.3</u>	<u>32.2</u>	<u>27.1</u>	<u>27.7</u>	22.6	<u>29.2</u>	21.3	<u>23.3</u>	<u>23.5</u>	<u>24.6</u>	<u>23.0</u>	<u>23.1</u>	20.3	<u>21.8</u>	<u>27.6</u>	<u>25.1</u>	25.9	<u>24.1</u>
奥州	31.2	<u>30.0</u>	18.0	<u>26.9</u>	24.2	26.1	21.4	16.4	12.8	17.6	15.4	16.8	19.5	12.6	17.5	<u>21.1</u>	22.3	18.5
一関	<u>34.6</u>	23.7	21.8	<u>27.4</u>	<u>32.3</u>	<u>27.9</u>	<u>26.3</u>	21.9	<u>27.0</u>	<u>22.6</u>	<u>24.6</u>	<u>24.5</u>	<u>24.3</u>	<u>17.9</u>	<u>21.7</u>	14.2	18.1	19.3
大船渡	28.5	<u>30.5</u>	21.6	15.6	<u>26.7</u>	24.7	20.5	<u>23.9</u>	16.3	<u>26.5</u>	15.2	20.5	15.5	14.1	<u>30.6</u>	<u>22.1</u>	<u>26.4</u>	21.6
釜石	31.0	26.0	24.5	16.6	16.8	23.3	22.7	18.7	14.8	15.1	19.9	18.4	20.9	<u>16.6</u>	17.0	<u>22.3</u>	10.2	17.5
宮古	30.2	24.7	24.0	23.2	<u>28.2</u>	26.1	<u>24.5</u>	21.3	<u>26.5</u>	14.8	<u>24.0</u>	<u>22.4</u>	<u>27.5</u>	14.7	13.8	15.5	<u>27.6</u>	19.8
久慈	28.8	<u>35.8</u>	23.0	20.0	<u>42.2</u>	<u>29.9</u>	<u>33.7</u>	15.4	21.0	<u>23.1</u>	<u>28.9</u>	<u>24.5</u>	16.5	15.0	<u>46.0</u>	<u>27.4</u>	<u>30.2</u>	<u>26.8</u>
二戸	<u>39.6</u>	<u>38.5</u>	<u>37.4</u>	<u>55.3</u>	<u>35.2</u>	<u>41.2</u>	<u>39.5</u>	<u>27.4</u>	<u>37.3</u>	<u>30.5</u>	<u>27.3</u>	<u>32.5</u>	<u>21.7</u>	<u>32.2</u>	<u>24.8</u>	<u>29.6</u>	<u>34.7</u>	<u>28.5</u>
県	32.0	28.2	25.2	26.3	26.5	<u>27.7</u>	23.2	22.8	20.9	20.4	20.4	21.6	21.1	16.1	21.2	20.0	22.1	<u>20.1</u>

注) 1 囲み表示：当該年の自殺死亡率の最高値

2 、 、 ゴシック、下線表示：当該年の県の自殺死亡率より高い値であるもの

6 東日本大震災に関連する自殺者数（警察庁統計）

- ・ 平成 23 年からの合計は 59 人となっている。
- ・ 本県の令和 7 年の東日本大震災津波に関連する自殺者はいなかった。

1 男女別

区分	男性	女性	計
岩手県	45	14	59
宮城県	64		64
福島県	119		119
他都府県	10		10
全国計	167	85	252

※「東日本大震災に関連する自殺」の定義

- ① 遺体の発見地が避難所、仮設住宅又は遺体安置所であるもの。
- ② 自殺者が避難所又は仮設住宅に居住していた者であることが判明したもの。
- ③ 自殺者が被災地から避難してきた者であることが判明したもの。
- ④ 自殺者の居住、職場等が地震又は津波により甚大な被害を受けたことが判明したもの。
- ⑤ その他、自殺の原因動機が東日本大震災の影響によるものであることが判明したもの。

※自殺者数は発見された場所に計上していること。（発見地ベース）

※宮城県と福島県については、国統計上、秘匿処理等の関係から、男女内訳が不明であること。

2 年別

年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元(H31)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
岩手県	17	8	4	3	3	6	7	2	3	1	1	1	3	0	0	59
全国計	55	24	38	22	23	22	26	9	16	5	6	2	4	0	0	252

※H23は6月から12月までは、暫定値であること。

3 年齢別

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計
岩手県	0	2	6	10	11	19	7	4	59
全国計	5	18	23	30	59	55	36	26	252

4 原因動機別

区分	家庭問題	健康問題	経済生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳	計
岩手県	12	25	13	6	1	0	12	17	86
全国計	55	119	52	27	5	0	31	64	353

※原因・動機については、自殺者1人に対し複数選択となっているため、自殺者数と数値が一致しないこと。

7 直近（令和8年）の状況（警察庁統計）

- ・ 令和8年6月までを前年同月と比較すると、本県においては合計94人で前年同月より16人の減となっている。
- ・ 全国では7.8%の減に対し、本県は14.5%の減で、全国より減少率が高くなっている。
- ・ 男女別では、全国では男性が8.8%、女性が5.5%の減となっており、本県は男性が23.1%の減、女性は25.0%の増と、男性の減少率が大きくなっている

【岩手県】

単位：人、%

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	計	増減率
R 8	男	10	15	14	11	12	7	69	
	女	9	4	4	2	3	3	25	
	合計	19	19	18	13	15	10	94	
R 7	男	11	11	18	19	19	12	90	
	女	6	4	1	5	4	0	20	
	合計	17	15	19	24	23	12	110	
R 6	男	15	14	15	29	20	14	107	
	女	6	6	5	1	12	7	37	
	合計	21	20	20	30	32	21	144	
増減 R8-R7	男	△ 1	4	△ 4	△ 8	△ 7	△ 5	△ 21	△ 23.3%
	女	3	0	3	△ 3	△ 1	3	5	25.0%
	合計	2	4	△ 1	△ 11	△ 8	△ 2	△ 16	△ 14.5%

※ R8は暫定値、岩手県警集計（7月10日集計）

【全国】

単位：人、%

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	計	増減率
R 8	男	1,081	956	1,162	1,045	1,100	910	6,254	
	女	457	420	534	494	472	495	2,872	
	合計	1,538	1,376	1,696	1,539	1,572	1,405	9,126	
R 7	男	1,103	994	1,167	1,232	1,206	1,152	6,854	
	女	537	421	495	497	555	534	3,039	
	合計	1,640	1,415	1,662	1,729	1,761	1,686	9,893	
R 6	男	1,141	1,044	1,291	1,317	1,246	1,172	7,211	
	女	547	515	603	586	607	550	3,408	
	合計	1,688	1,559	1,894	1,903	1,853	1,722	10,619	
増減 R8-R7	男	△ 22	△ 38	△ 5	△ 187	△ 106	△ 242	△ 600	△ 8.8%
	女	△ 80	△ 1	39	△ 3	△ 83	△ 39	△ 167	△ 5.5%
	合計	△ 102	△ 39	34	△ 190	△ 189	△ 281	△ 767	△ 7.8%

※ R8は暫定値 警察庁集計（7月10日集計）